

# IANA機能の監督権限移管 最新動向

日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)  
インターネット推進部・IP事業部  
奥谷泉



# 国内メディア

## インターネットガバナンスの重大な転機、米国に代わって誰が管理するのか

2016/04/13

高橋 健太郎=日経コンピュータ (筆者執筆記事一覧)

記事一覧へ >>

平和博 ファンになる  
朝日新聞記者 (デジタルウオッチャー)

### インターネットの管理権限を米政府が手放す

投稿日: 2016年04月04日 16時49分 JST | 更新: 2016年04月04日 16時49分 JST

62 11 1  
シェア ツイート Bookmark コスト

インターネットの管理権限を、米国政府が手放そうとしている。



By Veni (CC BY 2.0)

過去20年近く、インターネットの中核機能の運営を担って来たのは、国際的なNPO「ICANN」(本部・米カリフォルニア州)だ。

そしてICANNはこれまで、米商務省との契約による監督下にあった。だがスノーデン事件をきっかけに、「米国政府のインターネット支配」への批判が強まる中で、その監督権限を手放すための検討が続いていた。

12 28  
Bookmark Pocket 保存する

2016年3月10日、インターネットガバナンスに重要な転機が訪れたことをご存じだろうか。インターネットを運用するのに必要なIPアドレスやドメイン名の管理が米国政府の手を離れ、インターネットコミュニティに移管されようとしているのだ。世間一般には知られていないテーマだが、インターネットのコミュニティではここ数年、大きな話題となっていた。

日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC) は3月30日、報道関係者向けに「インターネットは誰が管理するのか? ~米国管理からの脱却に向け前進」と題してトークイベントを開催した(写真1、写真2)。

INTERNET Watch > トピック > 業界動向 > その他

#### ニュース

### インターネットが米国管理下から脱却する日へ一歩近づく、IANA機能の監督権限移管作業が第2段階へ

(2016/4/8 06:00)

Tweet リスト Bookmark Pocket 0

「インターネットは誰が管理するのか? ~米国管理からの脱却に向け前進」と題したトークイベントを、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC) が3月30日、報道関係者向けに開催した。今回は、その中から重要と考えられる話題をいくつかピックアップしてお伝えする。



写真2 ● 左から東京大学の江崎浩氏、ICANNのジアロン・ロウ氏、APIDEのオメアー・カジ氏、JPNICの奥谷泉氏 [画像のクリックで拡大表示]

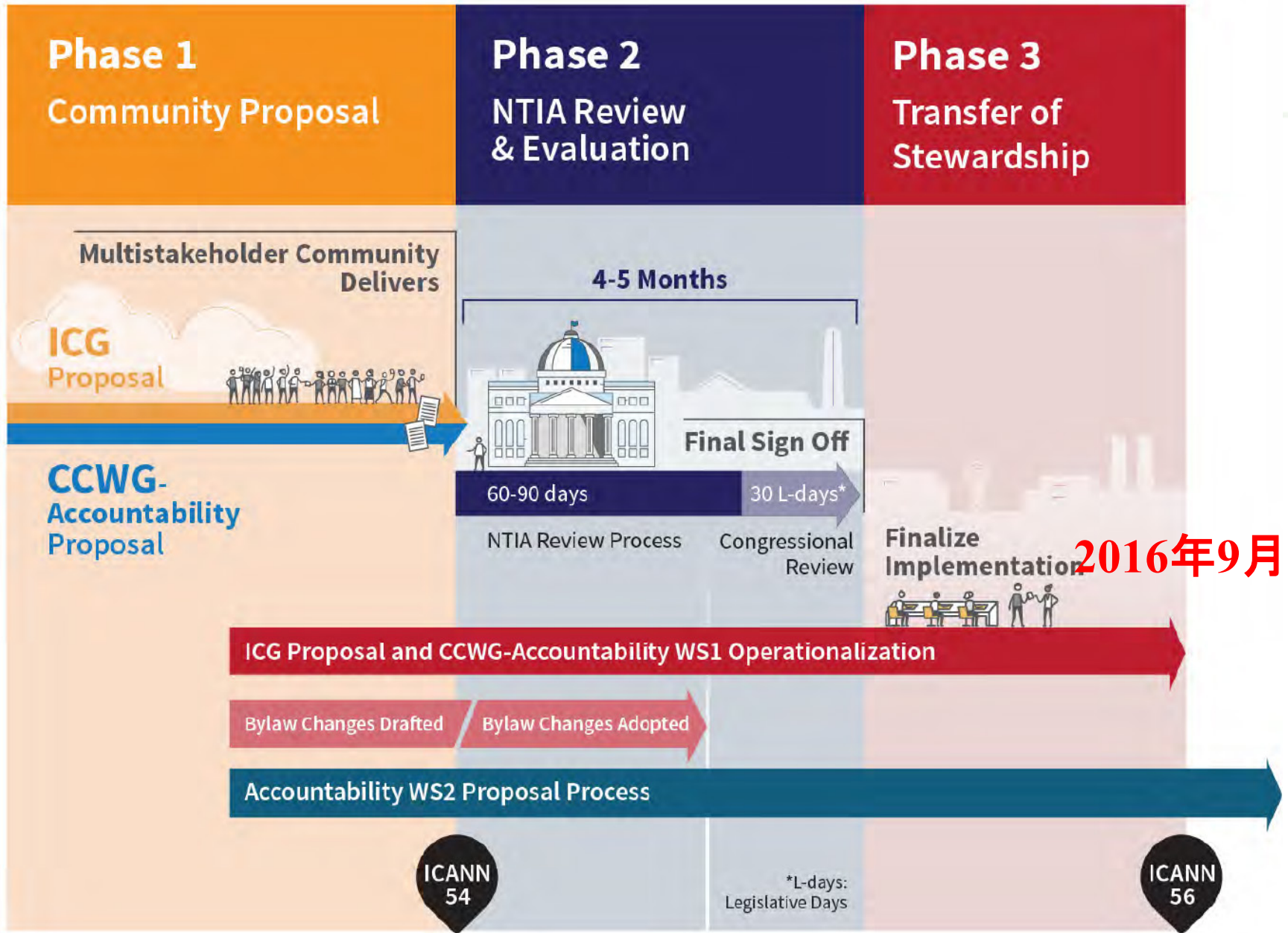


パネル参加者。(向かって左から) JPNICの前村昌紀氏、東京大学の江崎浩教授、ICANNのジアロン・ロウ氏、APIDEのオメアー・カジ氏、JPNICの奥谷泉氏

### JPNICでメディア向けイベント開催

<https://blog.nic.ad.jp/blog/icann-asia-pacific-media-event/>





# 今後

---

- **提案の実装**

- ルートゾーン管理における契約・手続き
- IANA機能監督権限に関する実装
- ICANN説明責任強化に関する実装

- **米国政府**

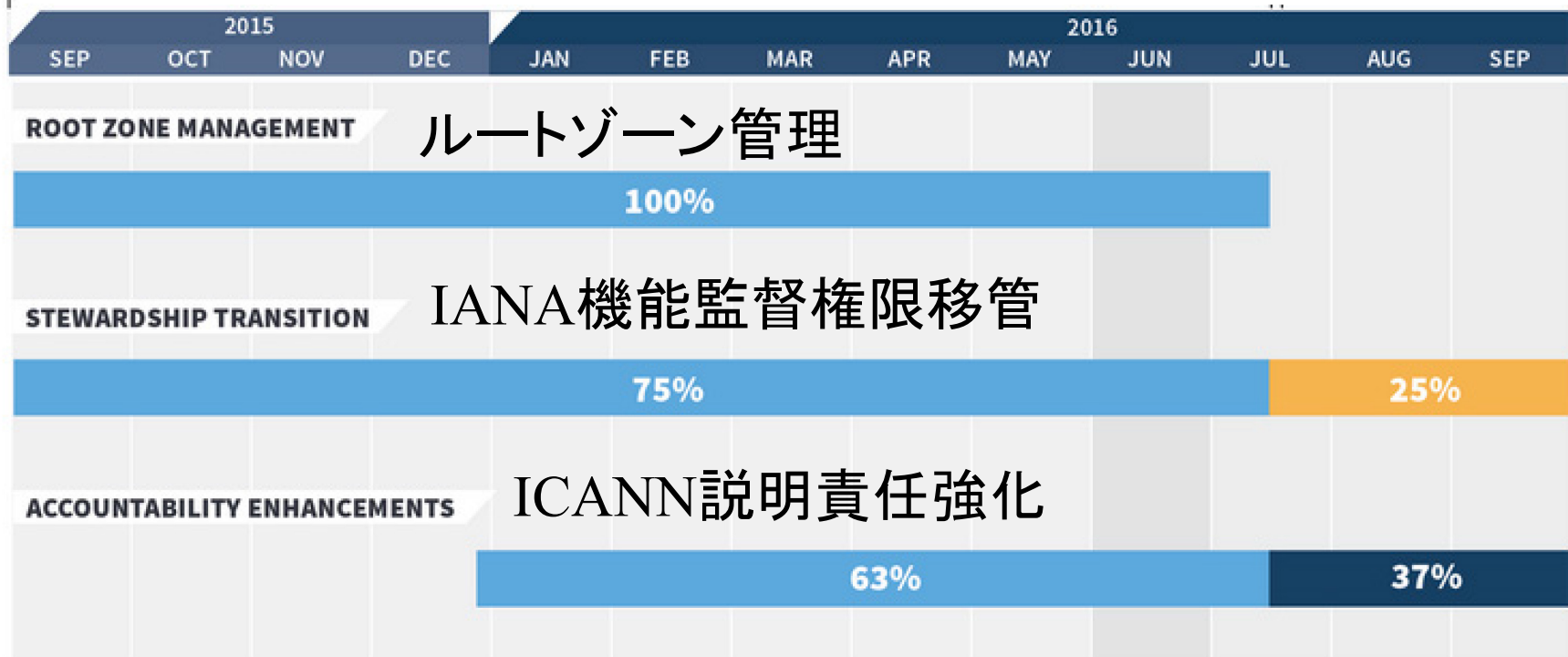
- 議会の評価
- NTIAによる判断

- **ICANN説明責任強化**

- IANA機能監督権限移管と併せて提出を必要とする提案は完了
- より長期的な検討開始

# 提案の実装状況

<https://www.icann.org/stewardship-implementation>



- ドメイン名機能提案の各種実装はPTI設立含めて対応中
- IETF提案のMoU、番号資源提案のSLAはICANN理事承認
- 番号資源提案のReview CommitteeもASO ACが暫定的に務めることで選定

# その後実装が必要な事項

---

- **ICANN説明責任強化に伴う各種実装**
  - 定款、付属定款の改定
  - 独立評価プロセス改定
- **ルートゾーンの管理**
  - NTIA-Verisign社間のルートゾーン契約に置き換わる、ICANN-Verisign間の契約
  - NTIAによる承認のステップを省いたルートゾーン更新手続き(システム対応しているため、この手順を省いた実装の試験が必要)
    - <http://www.verisign.com/rzms-parallel-ops/index.html>

# ICANN説明責任強化：WS 2

---

- Diversity(多様性)
- Human Rights(人権)
- Jurisdiction(ICANNの法管轄)
- SO/AC Accountability(支持組織・諮問機関の説明責任)
- Ombudsman(オンブズマン)
- Transparency(透明性)
- Staff Accountability(ICANNスタッフの説明責任)

**番号資源コミュニティとしてはASOの説明責任に  
不適切な関与が入らないことが懸案事項**

# ICANN-RIR間のSLA署名

